

給与支払報告にかかると特別徴収にかかる給与所得者異動届出書

※処理欄	<input type="checkbox"/> 現年度	<input type="checkbox"/> 新年度	<input type="checkbox"/> 両年度
------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

[1]異動があった場合は、すみやかに提出してください。

年 月 日	給(特別徴収義務者)与(特別徴収義務者)支(特別徴収義務者)払(特別徴収義務者)者(特別徴収義務者)	所在地 〒	特別徴収義務者指定番号
(あて先) 舟橋村長	代表者の職氏名印	名 称	法人番号 又は個人番号
			担当者 係 氏名
			電 話

給 与 所 得 者	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 ((ア)-(イ))	異 動 日	異 動 事 由	(ウ)の未徴収税額の徴収方法	1月1日から退職時までの給与支払額
フリガナ							円
氏 名 (旧姓) 明大 昭平 年 月 日生		<input type="checkbox"/> 月分から <input type="checkbox"/> 月分まで			1. 退職 2. 転職 3. 休業 4. 育児休業 5. 死亡 6. 会社解散 7. 徴収方法変更 8. 就職 9. その他 〔 〕	1. 特別徴収 a. 継続 → [3]欄へ b. 開始 <input type="checkbox"/> 月分から	円
個人番号							控除社会 保険料額
旧住所 (1月1日現在の住所を必ず記入願います)							円
現住所 (給与の支払を受けなくなった後の住所)							
現住所 <input type="checkbox"/> 同上 <input type="checkbox"/> 不明							

[2]未徴収税額([1]欄の(ウ))について、一括徴収または普通徴収する場合は、記入してください。
※1月1日から4月30日の期間に退職される場合は、本人の申出がない場合でも残税額を一括徴収することが義務づけられています。

1. 一括徴収する場合	異動者印	給与又は退職手当等の支払予定日	一括徴収予定額	左記徴収予定額は下記分で納入します。	備考欄
	印	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日	円	<input type="checkbox"/> 月分 (<input type="checkbox"/> 月10日納期分)	
2. 一括徴収できない場合	理由	1. 異動の日が6月1日から12月31日までの間で、本人からの申出がないため 2. 異動の日が1月1日から4月30日までの間で、残税額(上記(ウ)の額)を超える退職金などの支払がないため			

[3]転勤等による特別徴収届出書
※転勤・再就職等により異動後の勤務先で引続き特別徴収を行う場合、前勤務先で[1]の欄を記入し、新勤務先へ回送願います。新勤務先では、[3]の欄を記入し送付してください。

月割額 <input type="text"/> 円	給(特別徴収義務者)与(特別徴収義務者)支(特別徴収義務者)払(特別徴収義務者)者(特別徴収義務者)	所在地 〒	特別徴収義務者指定番号	新規
<input type="text"/> 月分から徴収し 納入します。	代表者の職氏名印	名 称	法人番号 又は個人番号	
受給者番号			担当者 係 氏名	
給与支払方法及びその期日	払込を希望する金融機関の所在地及び名称		電 話	